

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	クロスロードもこもこ園			
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の開設当初から勤務している職員が多く、チームワークが良い。	・課題が見つかるごとに「話し合い」の場を持ち、意見交換を行うようにしている。 ・全体の職員会議に加えて、午前・午後の療育内容の検討会議、子どもの加配での職員配置についてのミーティングなど、場面に合わせた打ち合わせをする事を全員が心がけている。	・子どもの発達特性に対応するためのケース会議や職員各自がより研鑽出来るよう、コンサルテーションを受ける場を持ちたいと思う。
2	・送迎支援、午後教室（幼稚園の放課後教室）設置などの家族支援が充実している。	・送迎は、ご自宅からご自宅へを基本とし、ニーズに合わせて送迎場所の変更（保護者の職場など）や時間調整を行うようにしている。	・送迎時間合わせが、朝夕の通勤ラッシュと重なったり、送迎車の定員オーバーになると難しい。また、職員の勤務調整も必要となってくる。なるべく保護者のニーズに応えられるような職員配置をしていきたい。
3	・短期大学（幼児教育）との連携が出来ている。	・大学での保護者や職員の学びの場が持てたり、専門家による相談会が開催できる。学生さんと子ども達の交流会や発達特性に合わせた教材提供が受けられる。	・大学教授による音楽セラピーの実施など、今後も子ども達の療育の充実が図れるような連携をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内の活動スペースが狭く、建物が老朽化しているため利用人数が限られてくる。	・数年前から移転を希望しているが、代替えとなる施設が見つからない。予算的な問題。	・子ども達の安全確保のための対策をする。 ・子ども達の体験活動を増やすため、個賠活動や公共施設を借りて療育や行事を行うようにしている。
2	・日々の職員数は手厚い支援が出来る様に確保できているが、常勤職員が少ない。	・子育て中の職員が多く「働きやすい時間」を優先すると、パート勤務になってしまう。 ・職員の処遇改善が不十分。	・職員の処遇改善（賃金、休暇の獲得方法など）を強化し、常勤でも安心して働ける様にしていく。
3	・送迎支援など共働きの保護者に対応した家族支援を実践しているが、保護者同氏のコミュニケーションの場や保護者会などの横の連携を持つのが難しい。	・保護者間の連携を図るための場所や時間の確保が課題と思われる。	・保護者の学びの場やクラブ活動など・・・、横のつながりが持てるような企画を提案していきたい。保護者に理解を求める事はもとより、ニーズ調査もしていきたい。